

<地域産業課 創業支援グループ>

- 創業・起業支援の推進
- 円滑な事業承継の促進

《創業支援グループのミッション》

1. グループの目標

創業・起業、事業承継の促進を図ること！

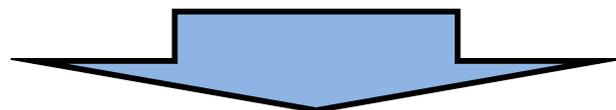
2. 令和4年度の実施方針

①多様な創業・起業の促進

- ・市町村及び関係団体等との連携のもと、県内全域での創業・起業の支援体制を強化。
- ・女性やU I J ターン者をはじめとした創業・起業の一層の増加を図る。

②円滑な事業承継の促進

- ・青森県事業承継ネットワークを中心とした関係支援機関の連携強化ときめ細かな支援。
- ・後継者不在の企業を新たな後継者へ円滑に事業承継することで、県内中小企業の休廃業による減少の抑制等に資する。



多様なしごとづくり、雇用や地域経済の維持・発展

《創業・起業支援の推進：これまでの取組》

1 創業支援拠点の整備

(1) 県の主体的な取組

- ・平成18年度 弘前市に創業支援拠点「夢クリエイト工房」を設置
- ・平成19年度 青森市に創業支援拠点「創業チャレンジクラブ」を設置
- ・平成20年度 八戸市に創業支援拠点「アントレプレナー情報ステーション」を八戸市と共同設置
- ・平成27年度 五所川原市、三沢市及びむつ市に創業支援拠点「創業相談ルーム」を各市と共同設置
- ・平成28年度 黒石市及び十和田市に創業支援拠点「創業相談ルーム」を各市と共同設置

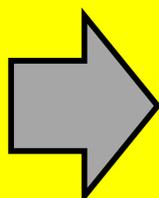


(2) 地域の主体的な取組を支援

- ・平成22～23年度 「アントレプレナー情報ステーション」の八戸市単独設置に向けた運営費補助
- ・平成24～25年度 夢クリエイト工房の代替機能を受継ぐ、弘前市の創業支援拠点「ひろさきビジネス支援センター」等への運営費補助
- ・平成24年度 青森市単独の創業支援拠点「起業・創業等相談ルーム」のスタッフ人材育成



成果



設置数 8市

(青森市、弘前市、八戸市、黒石市、
五所川原市、三沢市、むつ市、十和田市)
(R4.3月末現在)

新規利用者数 4,561名
(H18～R4.3末)

《創業・起業支援の推進：これまでの取組》

2 創業支援の風土づくり

(1) 創業・起業支援制度説明会・創業ワンポイントセミナーの開催

創業希望者の掘り起こし等のため、関係機関と連携し、県内各所で創業支援制度の説明会と創業の基本的知識の習得を目指したワンポイントセミナーを開催



(2) 創業・起業実践セミナー、UIJターン創業セミナー・相談会の実施

業態・分野別テーマでの創業セミナーや首都圏等で経験を積んだ方を対象としたUIJターン創業セミナー・相談会を開催



(3) 未来の起業家(高校生・大学生)の育成

長期的視点で創業意識を醸成するため、また中・高・大学生を対象とした起業家による講演会を開催



成果



説明等参加者数
2,064名(H21~R3)

相談会等参加者数
82名(R3)

起業家講演会参加者数
10校975名(H29)

《創業・起業支援の推進：これまでの取組》

3 支援の人財の育成強化

(1) インキュベーション・マネジャー(IM)育成支援

商工関係機関の職員も対象としたIM養成研修の実施や首都圏での研修受講を支援



(2) IMの連携促進に向けた協議会の設置

県内の創業支援活動の連携促進、スキルアップのための団体、青森県インキュベーション・マネジャーネットワーク協議会の設置(H24)



(3) IMのスキルアップに向けた研修会の開催

県内の関係機関に所属しているIM等を対象に、県内外のIMや専門家を講師に迎え、創業に関する地域習得と情報を共有するための研修会を実施

成果



県内IMの人数
67名(R3)

青森県インキュベーション・マネジャー
ネットワーク協議会設立(H24.7)

スキルアップ研修参加者数
41名(R3)

《創業・起業支援の推進：これまでの取組》

4 あおもり起業家養成研修事業

(1) あおもり起業家養成研修

創業・起業意識の醸成やビジネスプラン作成のノウハウ習得のため、創業支援の専門家(インキュベーション・マネジャー)によるビジネスプラン作成講座を実施

【29年度】黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市(5会場 参加者計55名)

【30年度】黒石市、五所川原市、三沢市(3会場 参加者計30名)

【R1年度】黒石市、五所川原市、三沢市(3会場 参加者計20名)

【R2年度】黒石市、五所川原市(2会場 参加者計12名)

【R3年度】黒石市、五所川原市(2会場 参加者計10名)



5 起業後のフォローアップ

(1) 創業・起業地域交流会

起業家(経営者)と創業希望者が交流し、情報共有や新しいネットワークづくりを行うことで、起業家同士の仲間づくりや販路開拓に繋げていくことを目的とした地域交流会の実施

【R1年度】青森市、弘前市、十和田市(3会場 参加者計54名)

【R2年度】青森市ほか5市、中泊町ほか3町村(8会場 参加者計92名)

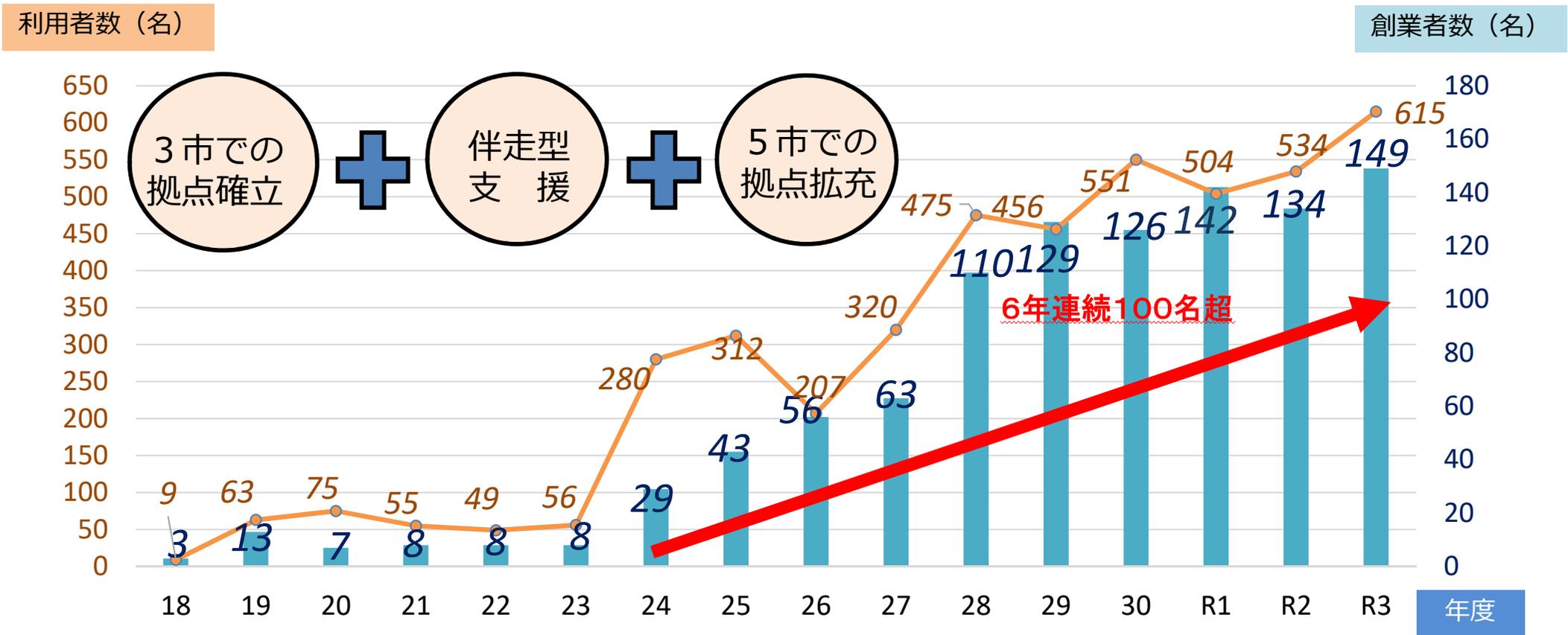
【R3年度】青森市ほか5市、七戸町ほか3町(8会場 参加者計88名)

(2) 起業家フォローアップ

平成26年度から平成30年度までの間において、県内創業支援拠点等を利用した創業者484名を対象に現在の状況や起業後の課題等を把握するためのアンケート調査を実施。

《創業・起業支援の推進：これまでの取組》

6 取組の成果～これまで県の創業支援拠点や事業を活用して創業に至った人数～



成果 → 合計1,028名 (H18～R4.3末)

《創業・起業支援の推進：これまでの取組》

創業者事例（Uターン創業）

Revive(弘前市)



院長 佐藤洋大
R元年8月創業

東京で15年間治療院勤務やスポーツトレーナー活動を経験。自分の経験を地元に戻元したいと思い、鍼灸・スポーツマッサージ治療院をオープン。



Gro Fe Lure(六戸町)



代表 関 夢郁
令和元年9月創業

刺繍サービスの提供という形で、アーティストや店舗のグッズ、ダンサー等の衣装に刺繍加工作業を行うほか、ロゴデザインの作成等幅広く手がける。



PC塾 Sigma Gate(八戸市)



代表 村上雄祐
令和2年2月創業

東京のIT会社勤務の経験等を生かし、年齢に関わらず、Excel、Wordの使い方やプログラミングの方法を教えるパソコン教室をオープン。



WILLING AUTO(八戸市)



代表 小山 昇
H30年3月創業

宮城県から家族でUターンして起業。中古車販売業のほか車検、オイル交換、各種パーツ販売・取り付けを行う。



弁当だるま(むつ市)



代表 赤田更介
R元年7月創業

地元で笑顔が直接見える商売をしたいと思い、趣味の料理を生かして弁当屋をオープン。家族等4人の従業員とともに、配達等を行っている。



Café kielo(田舎館村)



代表 佐藤智香
R元年5月創業

自然に囲まれ、旬の美味しい食材が手に入る地で開業したいとの思いでUターン。コーヒーのほかスイーツやランチ等を提供。



《創業・起業支援の推進：令和3年度の実績》

首都圏女性を対象としたUIJターン創業の誘致

○「あおりフルール」の任命

県内先輩女性起業家5名をあおり女性UIJターン創業サポーターズ「あおりフルール」に任命。

あおり女性UIJターン
創業サポーターズ



あおりフルール

Aomori Fleur



○あおりフルール座談会

首都圏女性を対象に、あおりフルールによる起業体験等の紹介や、グループに分かれた交流会を実施。



○青森woman×移住・創業ショートステイ

本県へのUIJターン及び創業・起業を希望する女性に青森を訪れていただき、県内で活躍する先輩起業家への訪問や現地視察、想定移住先の環境の調査等を実施。



《創業・起業支援の推進：令和3年度の実績》

創業支援の取組の広報

青森の「いま」と「みらい」をつなぐ広報紙

県民だより あおもり

12月
2021
令和3年
No.190

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、

ワクチン接種後も引き続き、3密の回避、マスクの適切な着用、
手洗い・手指消毒、換気などの感染防止対策をお願いします



一緒に夢を叶えましょう！

あおもりで叶える創業・起業
あなたの「やりたい」を
応援します。

COVER PERSON
公益財団法人
あおもり産業総合支援センター
インキュベーション・マネージャー (IM)
奥崎 千詠子さん

- CONTENTS / 目次
- P2 自分らしい生き方、働き方を創ろう
あおもりで叶える！ 創業・起業の夢
 - P6 CAFE AMORI
 - P6 いただきます、あおもりメシ「お米レシピ」
 - P7 『地域県民局』ZOOM UP!「上北地域」
 - P7 青森県職員の給与と職員数のあらまし
②防ごう！フレイル
 - P8 申吾のほっとコラム／あおもりインフォメーション



Challenge 03 IMと一緒に夢を叶えたあのひと。

青森県では、IMの伴走型支援を受けながら多様な業種で夢を実現している人が増えていきます。実際にIMからどのようなサポートを受け、どのようなステップで創業に至ったのか、4人の創業者にお話を伺いました。

Episode 01 わからないことを気軽に相談できる頼れるIMとの出会い。

「支援制度を利用した」という言葉が、私には聞き慣れない言葉で、しかも「1人に限らず、家族や友人、知人などにも相談できる」という点も、私にとっては大きな安心感を与えてくれた。創業の準備期間中、IMのサポートのおかげで、様々な疑問や不安を解消することができた。特に、創業の資金調達や、店舗の確保など、私には力不足な部分が多かったが、IMのアドバイスのおかげで、スムーズに進めることができた。創業の準備期間中、IMのサポートのおかげで、様々な疑問や不安を解消することができた。特に、創業の資金調達や、店舗の確保など、私には力不足な部分が多かったが、IMのアドバイスのおかげで、スムーズに進めることができた。

自家焙煎珈琲 cogemame
くろさき
工藤 広太さん(三好市)
令和元年11月、青森市内で力を入れている「自家焙煎珈琲」を販売し夫婦二人三脚で経営。

担当IMから、支援した印象

ご夫婦の珈琲への熱意や今後の展望をお聞きし、お二人を悩む空気感を感じたので、店舗の確保や資金調達など、具体的なアドバイスやサポートを行いました。創業の準備期間中、IMのサポートのおかげで、様々な疑問や不安を解消することができた。特に、創業の資金調達や、店舗の確保など、私には力不足な部分が多かったが、IMのアドバイスのおかげで、スムーズに進めることができた。

（公財）あおもり産業総合支援センターIM
しづか 石川 さん

Episode 02 挫折しかけるほどの道のりも、力強い後押しで乗り越え、創業が実現。

「支援制度を利用した」という言葉が、私には聞き慣れない言葉で、しかも「1人に限らず、家族や友人、知人などにも相談できる」という点も、私にとっては大きな安心感を与えてくれた。創業の準備期間中、IMのサポートのおかげで、様々な疑問や不安を解消することができた。特に、創業の資金調達や、店舗の確保など、私には力不足な部分が多かったが、IMのアドバイスのおかげで、スムーズに進めることができた。

合同会社アリス
あいらん
本堂 絵理子さん(青森市)
令和元年11月、青森市内に男女別の働き方への取り組みを推進。

担当IMから、支援した印象

この事業をやりたいんだという強い思いを感じました。雇用において自分の意見をしっかりと持ち、常に冷静に突き進んでいくのが印象的でした。

（公財）あおもり産業総合支援センターIM
あむら とも
齋藤 拓也さん

Challenge 01 あおもりで創業・起業したい人を応援 あなたの「夢」を一緒に叶えます！

Episode 01 わからないことを気軽に相談できる頼れるIMとの出会い。

「支援制度を利用した」という言葉が、私には聞き慣れない言葉で、しかも「1人に限らず、家族や友人、知人などにも相談できる」という点も、私にとっては大きな安心感を与えてくれた。創業の準備期間中、IMのサポートのおかげで、様々な疑問や不安を解消することができた。特に、創業の資金調達や、店舗の確保など、私には力不足な部分が多かったが、IMのアドバイスのおかげで、スムーズに進めることができた。

インキュベーション・マネージャー (IM) は、「創業したい」「創業を具体的に検討している」「起業に興味・関心がある」という人に対し、事業の構想・企画から実際に創業・起業するまでの段階に応じて一貫した支援を行う専門家です。夢を叶えたその時から創業者に寄り添った「伴走型」の支援を行うことにより、夢を叶える確率を少しでも高めていくことがIMの役割です。

IMは、創業希望者の目標達成までをサポートしながら一緒にビジネスを生み出すパートナーです。創業・起業を目指す一人ひとりが描く未来に近づけるよう、文字どお「伴走」という形で支援を行っています。青森県では、公益財団法人あおもり産業総合支援センターをはじめ、各支援機関と連携し、IMの育成・配置などに取り組んでいます。



Challenge 02 県内の創業者数は5年連続100人超え!



特集 自分らしい生き方、働き方を創ろう
あおもりで叶える！創業・起業の夢

「地元で新しいビジネスアイデアを実現したい」「好きな青森で自由に働く、働きたい」
青森県はそんな願いを持った人を応援しています。
創業・起業を支援する専門家・拠点です。
青森で夢を叶えるための充実したサポートをご紹介します。

《創業・起業支援の推進：令和4年度の取組》

あおもり創業・起業支援強化事業費

予算額 28,197千円

現状分析と課題

現状分析

- ◆ H18の取組開始以来の創業者数累計が1,000名間近
- ◆ 本県の女性社長比率は全国3位であるものの、就任の経緯でみると創業の割合は29.6%と全国平均(35.3%)より低い
- ◆ 新型コロナ等、社会情勢の変化に強い堅実な創業支援が必要
- ◆ 首都圏等在住者による地方回帰への関心の高まり
- ◆ 青森県型地域共生社会の実現への全庁的な取組強化

課題

- 女性をはじめとする創業希望者のニーズを捉えたさらなる支援が必要
- 潜在的UIJターン創業希望者に向けた情報発信の手法が不十分
- 地域課題解決に資する創業希望者が地域とつながる機会が不足

事業の内容（アウトプット）

【概要】魅力あふれる多様なしごとづくりや、創業による地域社会への貢献度向上のため、女性・UIJターン創業の推進や地域課題解決型創業の促進のほか、足腰の強い堅実な創業・起業に向けた支援プラットフォーム機能の充実・強化に取り組む。

取組1 女性・UIJターン創業の推進 3,687千円

- ①先輩女性起業家等を活用した支援環境の整備
あおもり女性創業サポーターズ「あおもりフルール」の任命、女性起業アテンドの養成
- ②UIJターン創業のPR
UIJターン創業事例集とPR動画の作成、首都圏イベントへの創業者派遣

取組2 地域課題解決型創業の促進 4,925千円

地域課題解決型創業希望者等によるワークショップ、地域滞在型スキルアップ合宿、ビジネスプランコンテストの実施

取組3 支援プラットフォーム機能の充実・強化 19,585千円

- ①地域インキュベーション体制の確立
21財団に創業支援の専門家（女性1名含む）を配置（県内外での伴走型支援、相談ルームへの派遣、創業後フォローアップの実施）
- ②先輩起業家等を活用した支援環境の整備
少人数交流会の実施（うち数回は女性向け）
- ③合同支援制度説明会の開催
関係機関等が一堂に会した各種支援制度の説明会を市部で開催

事業の目指す姿

事業のアウトカム

- ◆ UIJターンによる創業者数の増加
- ◆ 地域課題の解決に資する創業者の輩出
- ◆ 創業者実績年100名以上の継続

最終アウトカム

- ◆ 創業意欲を持った人財の発掘・育成と全庁的な創業機運の醸成
- ◆ 創業支援拠点を活用した足腰の強い堅実な創業・起業の促進
- ◆ 創業後も含めた継続的なフォローアップ体制の構築

《創業・起業支援の推進：令和4年度の実施》

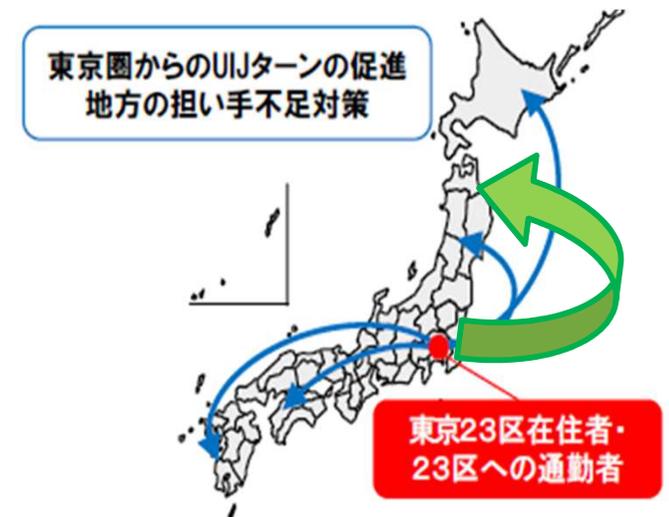
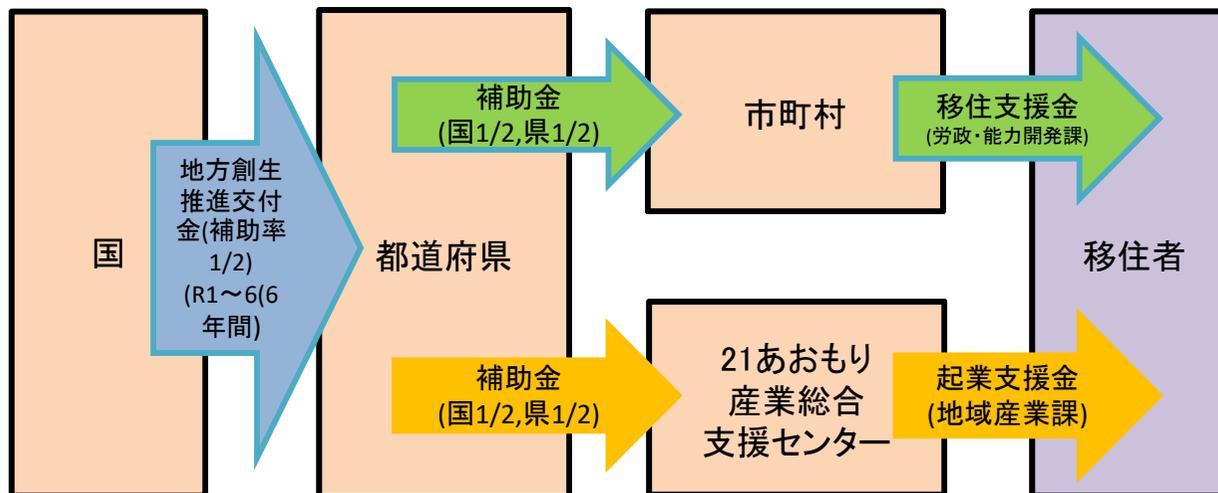
あおもり移住支援事業費（起業支援事業分）

1 制度概要

東京圏からのUIJターンの促進及び地方の担い手不足対策として、国の地方創生推進交付金を活用した移住支援金・起業支援金制度を実施する。

目的	移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消
補助 限度額	起業支援金：最大200万円 移住支援金：最大100万円（世帯100万円、単身60万円） ※最大300万円（起業支援金200万円＋移住支援金100万円）
対象者	以下の①、②の全ての要件を満たす者 ① 23区在住者又は23区への通勤者 <u>直近10年間で通算5年以上（直近1年間は連続）</u> ② 青森県内で起業した者
対象事業	地域の課題の解決に資する社会的事業で新たに起業する事業

2 事業のスキーム



《円滑な事業承継の促進：これまでの取組》

現状

- 県内企業の後継者不在率は上昇傾向にあり、近年は60%前後(③0 57.4%→R1 60.3%→R2 60.9%→R3 59.8%)
- 青森県の社長の平均年齢はR3年で61.9歳と60歳を超える状況
- 後継者の育成期間を含めると事業承継には5年～10年の期間が必要

- ・現状のままだと10年後には県内企業約4万社のうち、2.4万社が失われる可能性
- ・中小企業の廃業は、地域における雇用喪失、経済の衰退に直結

事業承継支援の取組を速やかに実施する必要性有

H29～H30(県重点枠事業等)

- 「青森県事業承継円滑化支援関係機関連絡会議」の開催
- 後継者不在企業調査 ○後継者不在企業調査先に対するフォローアップセミナーの開催
- 後継者育成セミナーの開催 ○支援機関向け研修会の開催 ○事業承継税制の認定事務

R1～R2(県重点枠事業等)

- 21あおもり産業総合支援センターと連携して、商工団体・金融機関・士業団体等で構成する「青森県事業承継ネットワーク」を設置(R1.7)
 - ・商工団体や金融機関等による事業承継診断の実施
 - ・支援機関向けの出前セミナーや研修会の実施
 - ・事業者に対する専門家派遣
 - ・経営者保証解除支援の取組(R2～)
- 事業承継の機運醸成(新聞広告、事業承継推進強化月間(10月)の設定、TVCMの放送等)
- 事業承継税制の認定事務
- 地域事業承継サポートミーティング(県内6地域)の設置、開催

《円滑な事業承継の促進：令和3年度の実績》

地域事業承継サポートミーティング(東青・中南・三八・西北・上北・下北の6地域で開催)

事務局: 県地域産業課

市町村

商工会議所

商工会

中小企業団体
中央会支所

金融機関

地域県民局

事業承継・引継ぎ
支援センター

目的: 地域の関係機関の実務担当者が一堂に会して、事業承継に関する情報共有や意見交換等を行う場を設置し、地域主体の事業承継支援体制の強化を図る。

内容: (1) 地域の事業承継に係る情報の交換・共有

- ◇特に地域に不可欠な事業者(早期に支援が必要な業種等)の情報
- ◇新たな事業に取り組もうとしている成長期待事業者の情報
- ◇その他の情報

(2) 引受け先事業者及び後継者人材(創業者、UIターン者、地域おこし協力隊員等)の掘り起こし

(3) 各機関が行う事業承継支援の取組 (4) 県等の支援施策・事例・支援のあり方等 (5) その他事業承継に関すること

令和3年度 第1回サポートミーティング

(1) 日時等

令和3年7月13日～7月28日

県内6地域で順次開催

参加者: 計172名

(2) 内容

- ① 事業承継支援の取組等紹介
- ② 情報・意見交換等



令和3年度 第2回サポートミーティング

(1) 日時等

令和4年3月24日 オンライン開催

参加者: 68名

(2) 内容

- ① 地域主体事業承継支援モデルの紹介
発表: 4事業者及び支援機関
- ② 講演「地域が主体的に取り組む事業承継支援について」
講師: 事業承継センター(株)
- ③ 来年度の取組紹介

地域主体事業承継支援モデルの紹介

本事業を活用した
事業承継への取り組みを語る!
～地域の支援者の力とともに～

1. 株式会社かさい製菓 (弘前市)
2. 有限会社遠田酒店 (十和田市)
3. 有限会社昭和鋳金 (十和田市)
4. 有限会社津軽ぶどう村 (鶴田町)

進行役
事業承継センター株式会社

《円滑な事業承継の促進：令和3年度の実績》

○ベンチャー型事業承継

「ベンチャー型事業承継」とは若手後継者が家業の経営資源を活用して新規事業に挑戦すること

1. トークイベント

(1) 開催日時等

日時：令和3年9月15日～17日 18時～20時

場所：オンライン

参加者：40名

(2) 内容

- ① 県内の先輩アツギによるトークセッション
- ② 質疑応答・交流等



2. アツギソンin青森

(1) 開催日時等

日時：令和3年11月20日9時～21日19時30分

場所：AOMORI STARTUP CENTER

参加者：6名

(2) 内容

- ① 新規事業開発の手法等を学ぶワークショップ
- ② 先輩アツギによるメンタリング
- ③ 考案したビジネスアイデアの発表



○第三者承継フォーラム

「第三者承継」とは、会社やお店等の事業を親族や従業員以外の第三者に引き継ぐこと

(1) 開催期間等

日時：令和3年10月25日～31日

(事業承継推進強化月間に開催)

場所：オンラインによる動画視聴

参加者：89名

(2) 内容

- ① 知事メッセージ、② 県事業承継・引継ぎ支援センターの紹介
- ③ 専門家による講演、④ 事業承継をした事業者のインタビュー



青森県知事
三村 申吾



株式会社ロビア
代表取締役社長 吉田 直哉



木部工業株式会社
代表取締役社長 雑賀 亮丞



《円滑な事業承継の促進：令和3年度の実績》

○事業承継推進強化月間(10月)CM

①

③

⑤

②

④

○新聞広告

～未来への承継～

経営者の皆様、大切な会社やお店の後継者は決まっていますか？

さまざまな事業承継を県と関係機関が全力でサポートします！

親族内承継

従業員への承継

第三者への承継

経営者の高齢化が進む中、県内中小企業の多くは後継者が決まっていません。一方で、事業の引継ぎには5年から10年かかるとされており、後継者がいないため廃業を余儀なくされるケースもあります。あなたの会社やお店は青森県が誇る貴重な財産です。会社や従業員、そして、地域の未来のため、うまくバトンをつなぐ準備を今から始めましょう。

青森県知事 三村申吾

まずはお気軽にご相談ください。

親族内承継、従業員への承継、第三者への承継等に関する様々な相談

親族に後継者がおらず、廃業又は会社やお店の譲渡を考えている方

後継者のいない会社を引き受けて事業を拡大したい方

後継者のいないお店を引き継いで創業したい方

具体的にどのように承継すればよいかわからない方

事業の承継に際し、借入金の経営者保証が負担となっている方

～事業承継の相談をワンストップで～

青森県事業承継・引継ぎ支援センター

((公財)21あおもり産業総合支援センター内)

TEL 017-723-1040 FAX 017-735-5777

E-mail hikitsugi@21aomori.or.jp

詳細はこちらのサイトにてご確認ください。 <https://www.21aomori.or.jp/jigyoushoukei/>

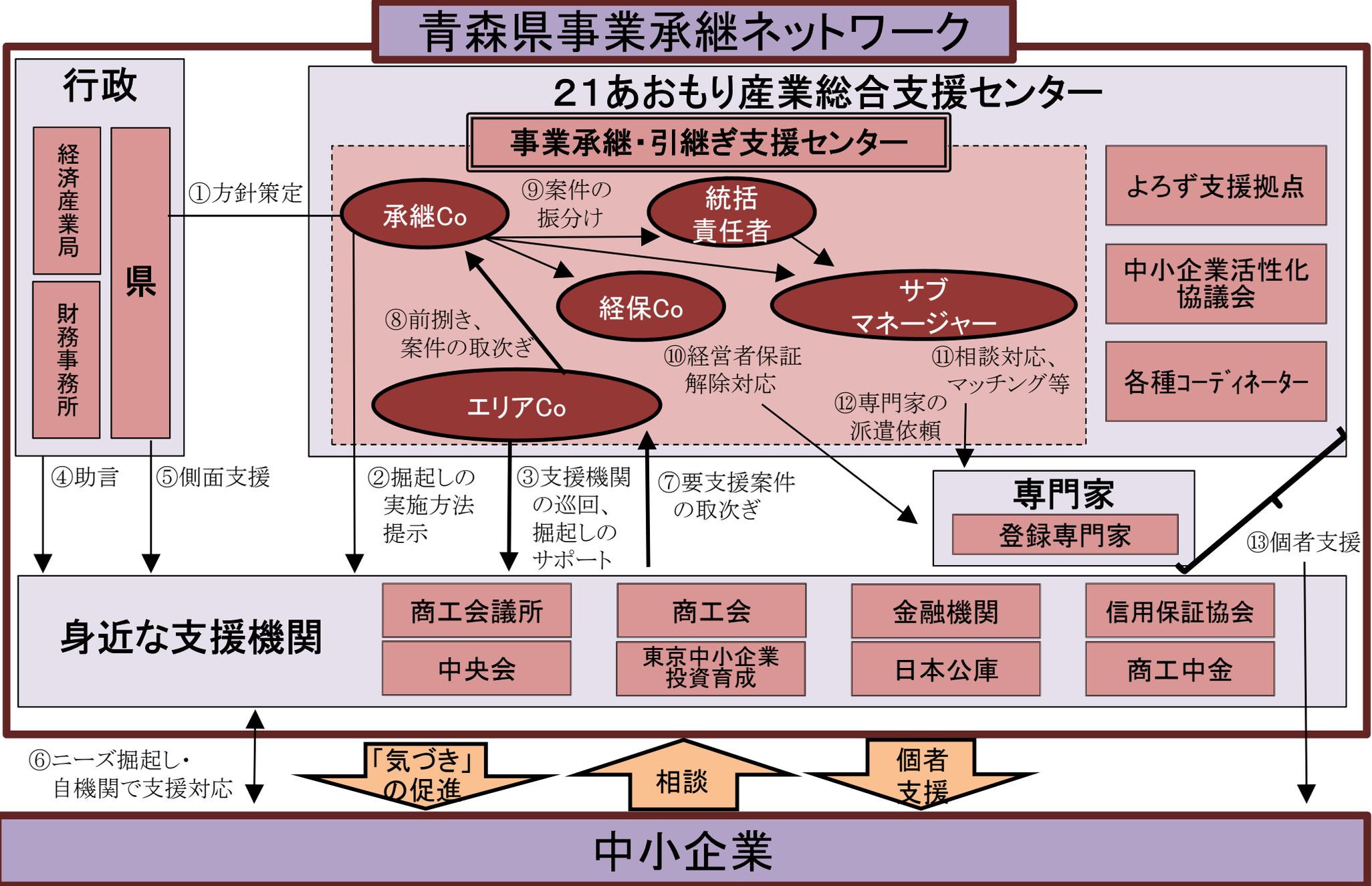
相談無料 & 秘密厳守

○その他普及啓発活動

- ・県民だより等広報紙への記事掲載
- ・「みんなの県庁！」等テレビでの広報 ほか

《円滑な事業承継の促進：令和4年度の取組》

令和元年度7月に設置した「青森県事業承継ネットワーク(事務局(公財)21あおり産業総合支援センター)」が中心となり、引き続き、県内企業の円滑な事業承継を促進する。



地域事業承継促進・後継者育成事業費(R3～R4)

要求額 12,644千円

現状分析と課題

現状分析

- 民間調査会社の調査によると県内企業の後継者不在率は年々上昇
(29)56.0%→(30)57.4%→R1 60.3%→R2 60.9%)
- 国ではおよそ10年間を集中期間と定め、積極的な事業承継支援を実施
(事業承継ネットワークの全国設置と事業承継支援の取組強化)
- 新型コロナの影響による経営悪化と後継者不在の状況が重なることで、廃業する県内中小企業の増加が懸念
- 今後事業継続が困難となる中小企業の受け皿として、地域主体の支援体制を強化するとともに青森県事業承継ネットワークと連携した効果的な支援の実施が急務
- 第三者承継が盛んな都道府県では地域ぐるみで事業承継支援を実施
(例：地域協議会の開催(島根県)、地域事業承継サポートミーティングの実施(大分県))
- 後継者不在の経営者に事業承継の重要性等を伝えるとともに、後継者候補の会社を引き継ぐ意欲の喚起も必要

課題

- 地域における事業承継支援体制の整備と支援スキルの向上
- 後継者候補等の意欲喚起と人財育成
- 経営者や地域の関係者等に対する事業承継の必要性・重要性の周知

事業の内容(アウトプット)

【事業概要】

新型コロナによる県内中小企業への影響を踏まえながら、国の支援事業と連携して、地域主体の事業承継支援体制の強化や経営者の承継意識の向上を図るとともに、後継者候補の人財育成等に取り組み、県内中小企業の円滑な事業承継を促進する。〈地方創生交付金〉

1 地域主体事業承継支援体制の強化(継続) 4,274千円

(1) 地域事業承継サポートミーティングの実施

県内6地域で事業承継支援に係る情報・意見交換の場を設置(年2回)し、地域主体の事業承継支援を推進する。

(2) 地域主体事業承継支援モデルの構築

地域における支援スキル向上のため、事業承継支援モデルを構築する。

2 ベンチャー型事業承継の普及(一部新規) 4,766千円

(1) ベンチャー型事業承継セミナーの実施

若手後継者候補等に対し、ベンチャー型事業承継を普及・促進するセミナーを実施する。

(2) ワークショップの開催

ベンチャー型事業承継に関するワークショップを開催するとともにビジネスプランコンテスト(R4のみ)を実施する。

3 承継意識の向上(継続) 3,604千円

(1) 第三者承継フォーラムの開催

県内中小企業や支援機関等に第三者承継を啓発するフォーラムを開催する。

(2) 新聞広告・テレビCM等の実施

マスメディアと県広報媒体の活用により事業承継に取り組む意識を喚起する。

4 事業承継の円滑化支援(継続)

青森県事業承継ネットワークへの参画と事業承継税制及び金融支援の認定等を実施

事業の目指す姿

円滑な事業承継の促進が図られることで、地域の雇用の確保と地域経済の維持がなされる。

事業のアウトカム

- ◇県内6地域における事業承継支援モデルの構築
- ◇後継者候補等にベンチャー型事業承継の知識の普及
- ◇承継意識の向上による第三者承継をはじめとする承継方法・相談窓口の認知度向上



最終アウトカム

- ・地域主体の取組の充実と関係機関とのネットワーク体制の強化